

エーティックが下期安全大会開く

無災害継続へ協力を要請

技術研究発表、戦略会議も

協力を要請。国内でインフラの総点検が行われている中、「当社も国の安全を守る仕事を請負っている。安全に注意を配る職場づくりを目指して」と出席者に呼びかけた。

続いて、安全講話に入り講師として札幌市市政課交通安全担当課長の吉成真吾氏が登壇。交通安全にかかわり三点を順守するよう要請した。

吉成氏は、昨年の道内の交通事故死亡者二百人のうち、六十五歳以上の高齢者が八十五人にのぼる現状を示し、「体力の衰えから直近の道路を横断するの道路を横断する、視力低下で足元に意識がい

また、シートベルトや飲酒運転にかかわり説明。飲酒運転については「世論の動向もあり、厳しい処罰となることを認識してほしい」とし、「飲酒の罰則は基準の〇・一五m g(任

物損事故を起こすと、即逮捕」となることなどを示した。吉成氏は「総じて簡単な

安全動作ができない人が事故を起こす。この三点を守れば昨年の道内死亡事故八十四人を防ぐことができ

大会終了後、社内技術研究発表会も開催され、コンクリート構造物の劣化に対する補修設計事例、道路管理者の視点に立った道路付属物点検結果に対する課題

(株)エーティック(札幌、舟田清志社長)は二十五日、札幌市生涯学習センター「ちえりあ」で二十五年度下期安全大会を開催した。写真。会場には協力を要請。国内でインフラの総点検が行われている中、「当社も国の安全を守る仕事を請負っている。安全に注意を配る職場づくりを目指して」と出席者に呼びかけた。

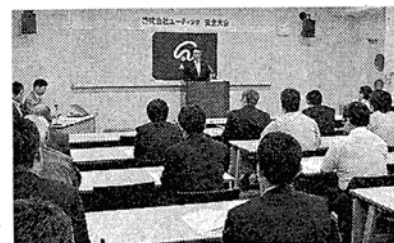


な五編の成果を担当者が発表。業務成結向上に向けた「事業戦略会議」も開催され技術の研鑽を深めた。審査後、受賞者に対し舟田幸太郎専務から表彰状が手渡された。

総力挙げて 労災防止を

エーティック

エーティック(本社・西区)は25日、生涯学習センター「ちえりあ」で下期安全大会を開いた。写真。総力を挙げて労災と交通事故の防止に努めることを誓った。



分の身は自分で守り、他人の身も自分が守るとい

う意識で安全作業を」と要請。安全・安心に仕事ができる職場の形成を促した。続いて札幌市市民まちづくり局の吉成真吾交通安全担当課長が講話し、高齢者の巻き込み事故防止対策や、飲酒運転の恐ろしさ、シートベルトの大切さを説いた。この後、角谷俊次安全衛生委員長が労災・交通事故、エソシカとの車両衝突事故、スズメバチ対策の留意点を説明した。